



平成 21 年度 <3 月期>

(2009.4 – 2010.3)

ディスクロージャー誌

株式会社 韓國外換銀行

在日支店(東京支店・大阪支店)



本ディスクロージャー誌は、銀行法第 21 条ならびに銀行法施行規則第 19 条の 2（業務及び財産の状況に関する説明書類の縦覧等）に基づき、在日支店ならびに当行全体の業務および財産の状況等について作成したもので、同規則第 19 条の 4 に定める期限である平成 22 年 9 月 30 日までに営業所に備置しました。

目 次

1. 在日代表のごあいさつ
2. 在日支店に係る事項
 - 1) 韓国外換銀行在日支店の概要
 - イ. 韓国外換銀行在日支店の代表者の氏名及び役職
 - ロ. 在日支店の概要
 - ハ. 大株主の状況
 - 2) 韓国外換銀行在日支店の営業の概況
 - イ. 本邦における営業店舗
 - ロ. 組織図および業務内容
 - ハ. 在日支店の活動現況
 - 3) 在日支店貸借対照表及び損益計算書
3. 外国銀行(本社)に係る事項
 - 1) 本店の経営方針
 - 2) 当行のあゆみ
 - 3) 全社連結貸借対照表及び損益計算書
 - 4) KEB Operating Results for 2009（英語版）

1. 在日代表のごあいさつ

平素より、私ども韓国外換銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。



平成 22 年 1 月、在日支店は金融庁より法令遵守等ならびに内部管理態勢等の不備により、行政処分を受けました。お客様に多大なるご迷惑ならびにご心配をお掛けしましたことに心よりお詫び申し上げます。

私どもは、この金融庁の処分を真摯に受止め、在日支店の経営管理（ガバナンス）態勢の見直し・再整備、法令等遵守態勢の確立等のため、業務改善計画を策定し、その履行・定着化に全行的に取り組んでおります。

私ども韓国外換銀行は 1967 年 1 月 30 日設立され、現在に至るまで、お客様に様々な金融サービスを提供して参りました。この間、様々な金融環境の変化によって、紆余曲折は御座いましたが、変わらぬ営業を続けられますのも、お客様をはじめとして、お取引様の多大なるご支援の賜物と職員一同、心から御礼申し上げます。

在日支店もお客様の信頼にお応えすべく、「お客様第一主義」を営業の基本として、私どもの強みである豊富な海外ネットワーク（世界 18 カ国、29 拠点）を最大限に利用し、外国為替業務を中心に銀行業務全般にわたる質の高い商品やサービスのご提供に取り組んで参りました。

これからも、お客様のニーズにしっかりお応えすべく、「お客様に信頼され、お客様とともに発展する銀行」を目指して、邁進していく所存でございます。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010 年 9 月

株式会社韓国外換銀行

日本における代表者 朱 在仲



2. 在日支店に係る事項

1) 韓国外換銀行 在日支店の概要

イ. 韓国外換銀行 在日支店の代表者の氏名及び役職

韓国外換銀行 東京支店 支店長

日本における代表者 朱 在仲 (Joo Jae Jung)

ロ. 在日支店の概要

営業開始日	1967年1月30日（東京支店、大阪支店）			
主要業務内容	<p>当行は 1967. 1. 30 韓国外換銀行法制定と同時に韓国銀行外国為替部から独立し、設立、同年在日支店（東京・大阪）営業開始、1981. 12 福岡支店設置（1999. 9 閉鎖）、1989 年韓国外換銀行法が廃止され、民間銀行となる。設立当初より韓国系商社の日本人、在日韓国系企業および在日韓国人を主要顧客として、貸付、預金、外国送金および貿易金融など広範囲な金融サービスを提供。現在も顧客構成、営業形態は不変。2010 年度（3 月末決算）経常純益は 692 百万円、特別利益は 167 百万円、当期利益は 859 百万円となった。</p>			
主要計数 （百万円） 在日支店分		平成 20 年 3 月末	平成 21 年 3 月末	平成 22 年 3 月末
	総資産	112,152	95,020	93,370
	貸出金	73,020	65,373	60,384
	預金	45,323	33,913	50,423
	経常利益	1,389	△2,023	692
	当期利益	1,879	△2,108	859
	従業員数	50 人	52 人	52 人
認可等案件実績	<p>1967. 1. 26 銀行業免許取得および外国為替業務認可取得、1989. 6. 28 金融先物取引業許可取得、2000. 6. 30 金融先物取引業廃業、2006. 6. 29 新宿出張所開設認可取得、2007. 9. 30 登録金融機関第 69 号</p>			

ハ. 大株主の状況 (2009年12月末現在)

(単位:千株、%)

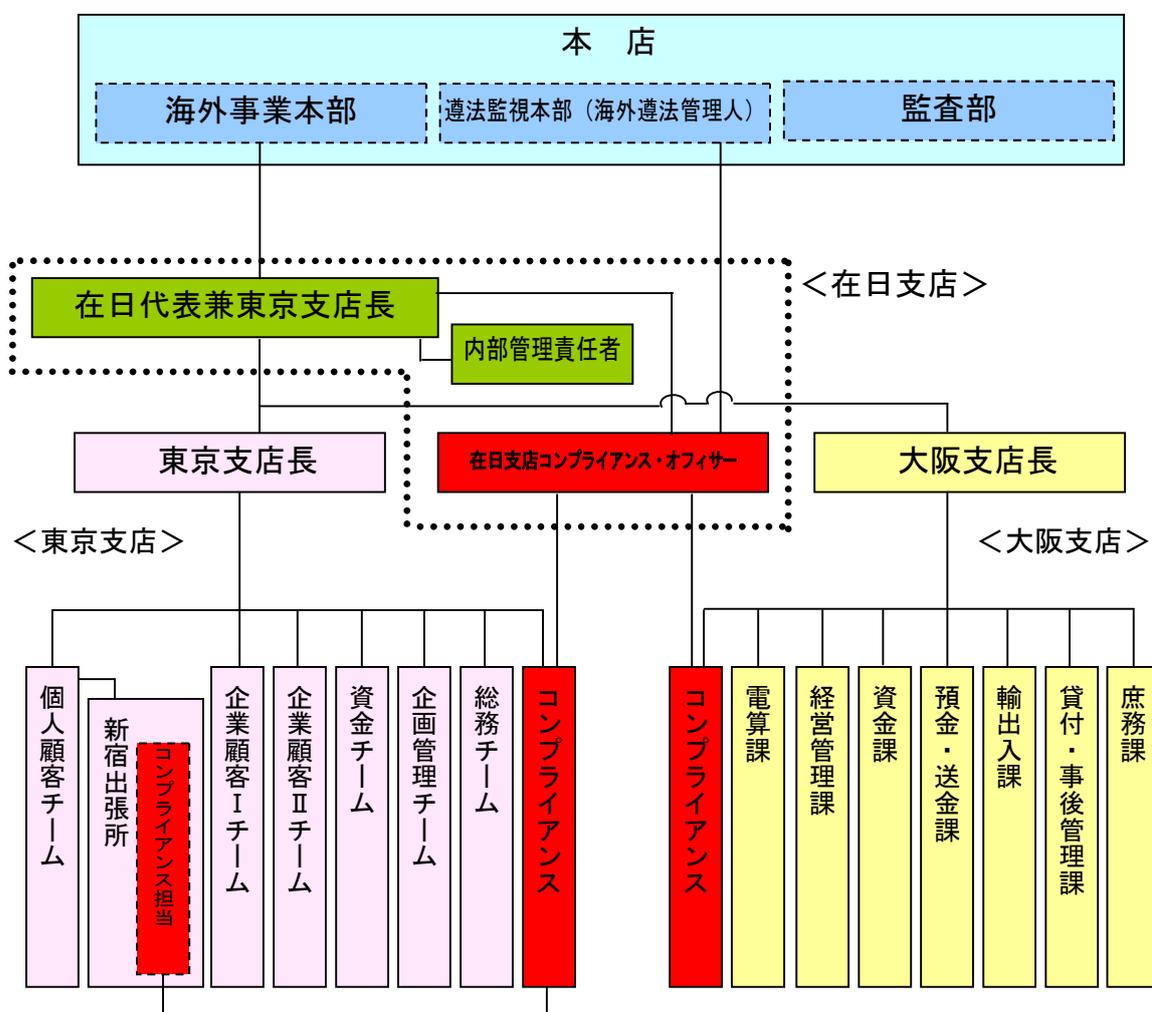
順位	氏名又は名称	保有株式数	発行済株式総数に対する保有株式の割合
1	LSF-KEB HOLDINGS SCA	329,043	51.022%
2	韓国輸出入銀行	40,314	6.251%
3	韓国銀行	39,500	6.125%
4	国民年金(固有分)	19,734	3.060%
5	ミレアセット資産運用	18,972	2.942%
6	NORGES BANK	6,866	1.065%
7	FIDELITY FUNDS	5,607	0.869%
8	HANA UBS 資産運用	5,526	0.857%
9	THE GOVERNMENT OF SINGAPORE	5,385	0.835%
10	TWEEDY, BROWNE FUND INC.	4,958	0.769%
11	三星投信	4,077	0.632%
12	農協	3,300	0.512%
13	EMERGING MARKETS GROWTH	3,215	0.498%
14	MONETARY AUTHORITY OF SINGAPORE	2,849	0.442%
15	VANGUARD EMERGING MARKETS STOCK INDEX FU	2,679	0.415%
16	ABU DHABI INVESTMENT AUT	2,423	0.376%
17	ALLIANZ GLOBAL INVESTORS FUND	2,388	0.370%
18	GMO EMERGING MARKETS FUND	2,196	0.341%
19	JPM SECURITIES LTD-EQUITIES	2,155	0.334%
20	FIDELITY INVESTMENT TRUST : FIDELITY EME	2,136	0.331%
	その他	141,584	21.954%
計		644,907	100.00

2) 韓国外換銀行在日支店の営業の概況

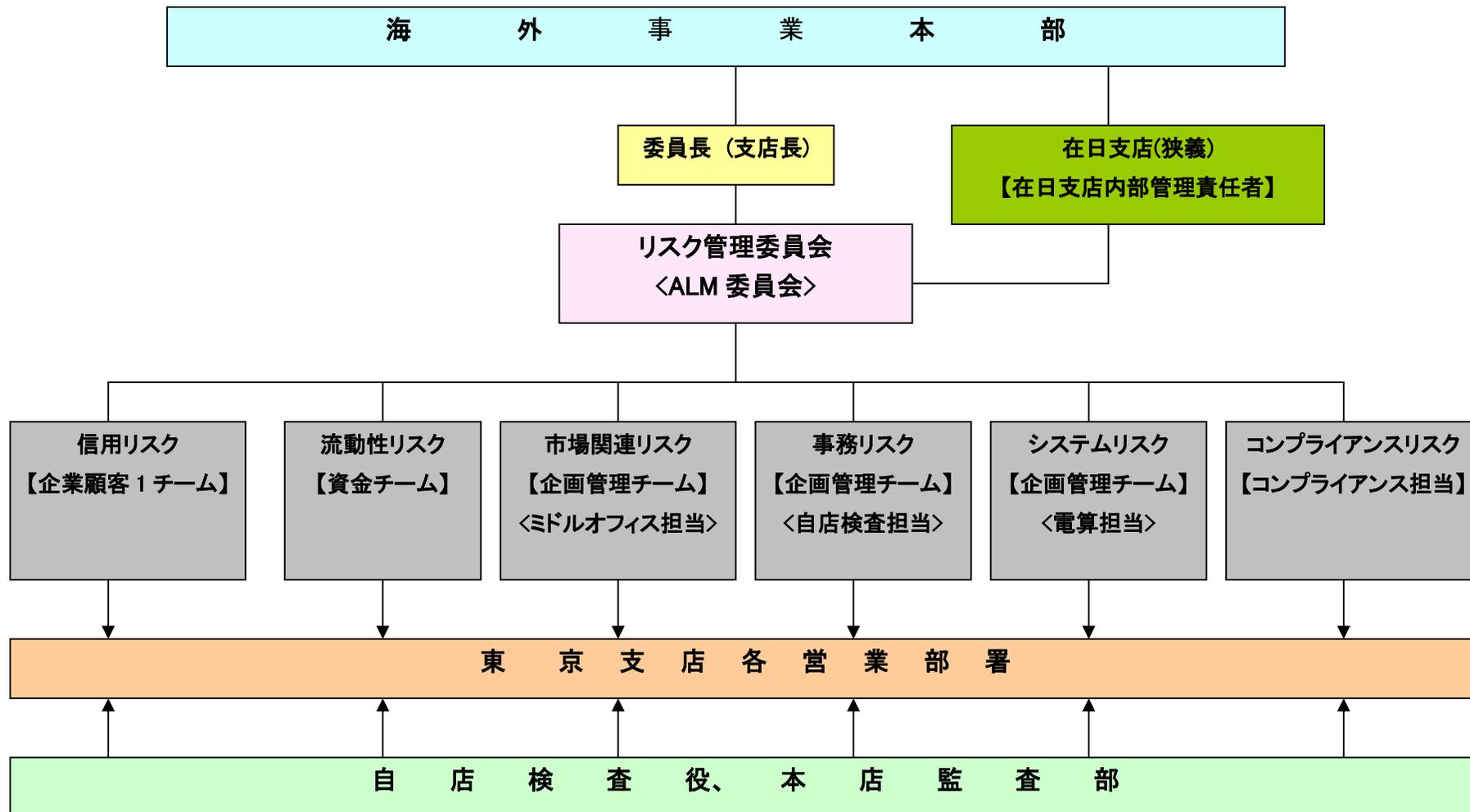
イ. 本邦における営業店舗

(支店名)	(所在地)	(店長)
東京支店	東京都千代田区丸の内3丁目4番1号	朱 在仲
大阪支店	大阪府中央区今橋4丁目1番1号	韓 勇甲
新宿出張所	東京都新宿区百人町1丁目1番2号	鄭 成東

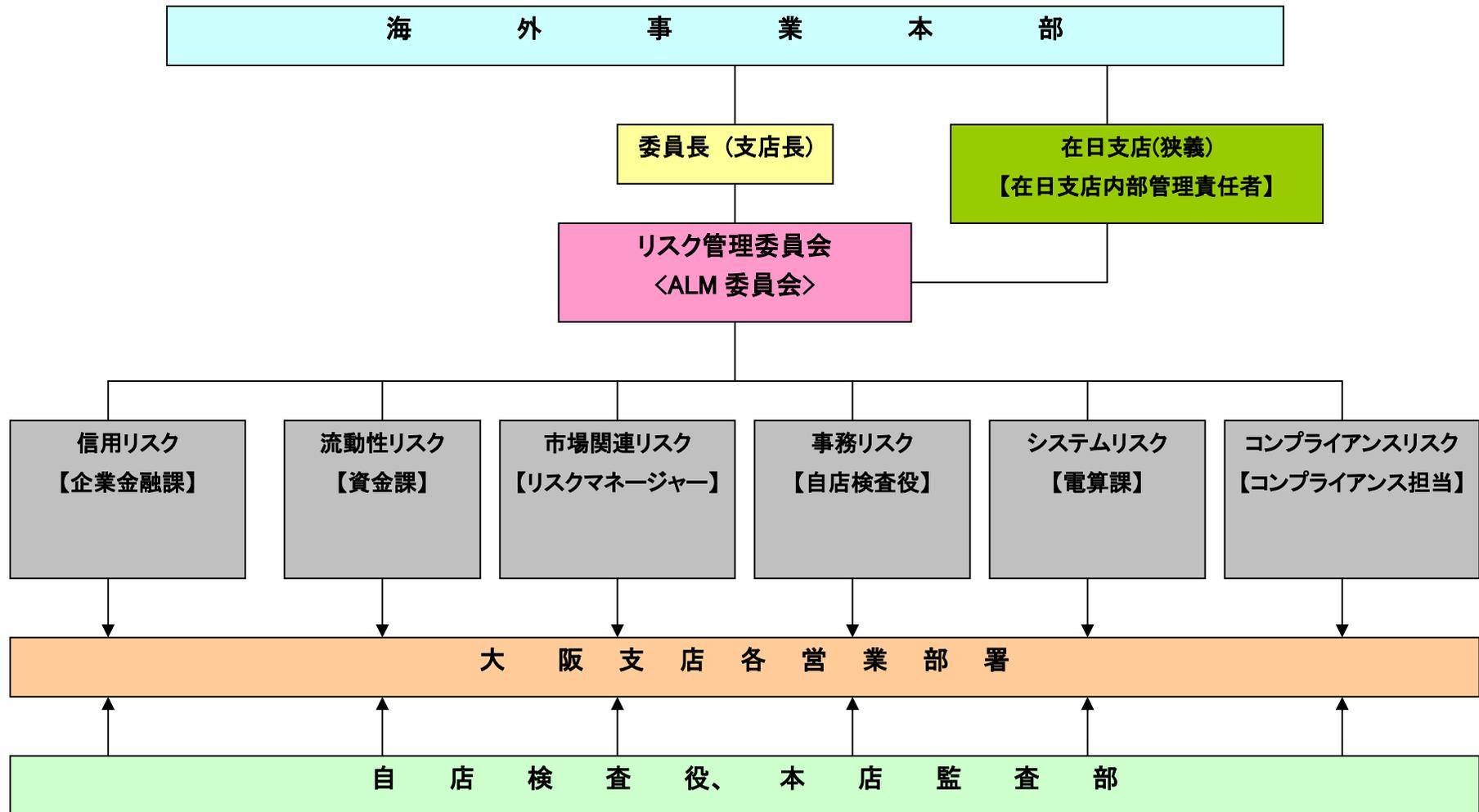
ロ. 組織図および業務内容 (2010年9月末現在)



(総合リスク管理組織体制 <東京支店>)



(総合リスク管理組織体制 <大阪支店>)



<業務内容(東京・大阪支店)>

業 務 名	業 務 の 内 容
預金出納業務	居住者及び非居住者に対する当座(円貨・ドル貨)、普通(円貨・ドル貨)、定期(円貨・ドル貨)預金の受入、円貨・ドル貨・ウォン貨の両替業務、国内円貨及びドル貨振込み業務、キャッシュカードサービス。
送金業務	韓国及びその他海外への仕向送金と被仕向送金の取扱、外貨小切手など取立業務、送金専用カードサービス。
輸出入業務	韓国向け輸出書類の買取り業務、信用状の通知業務、韓国向け信用状の発行、韓国系商社の現地法人、在日韓国人企業を主とした輸入貿易金融業務。
貸付業務	日本企業および在日韓国人企業に対する融資業務(割引手形、手形貸出、証書貸出)、シンジケートローンなどによる資金運用業務、既貸出先に対する与信および管理業務。
資金業務	ドル円および円ウォンの FX Dealing 業務(銀行間ポジションカバー取引)、対顧客先物為替取引、国内外本支店間の資金取引、資金繰り業務(短期金融市場での資金調達)、有価証券投資業務。
資金決済業務	本支店資金受払業務、資金取引のバックオフィス業務、日銀ネット端末管理、リコンサイル業務、Our A/C・Their A/C 残高管理。
経営管理業務	自店検査業務、決算業務、経営分析業務、本店および日本当局(日銀含む)向け各種報告書作成業務。
企画調査業務	リスク管理業務、経営計画・各種企画調査業務。
総務業務	職員給与・人事・経費/資産管理業務、文書管理業務、店内一般総務業務。
電算業務	銀行電算システム管理業務、各種電算機器および電信管理業務(PC, SWIFT など)。
コンプライアンス	法令等遵守、マネー・ローンダリング防止等コンプライアンス関連業務

ハ. 在日支店の活動現況

経営現況

当行は、韓国最大の外為銀行の特色を最大限に生かし、送金および貿易金融部門での役務サービス提供による顧客拡大を第1目標として、様々な形でお客様とのネットワークを構築して行きたいと考えております。その一例として、遠隔地にお住まいのお客様が韓国への送金を早く且つ安全にできるようにメールオーダーサービスを9年前に開始しました。登録者数は年々着実に増加しております。2003年5月から開始した在日韓国系銀行では初めてのインターネットバンキング(i-Bank)も着実に顧客数が増えており、海外送金の実績は順調に増加しております。また、2002年11月に設置した新宿相談所を2006年7月には出張所に変更し、幅広い金融サービスが提供できるように努力しております。

第2に、当行は在日韓国系銀行の中で逸早く韓国ウォンの両替業務を行ってきた銀行であり、2002年度はサッカーワールドカップを機とした韓国外為法の一部改正により、韓国ウォンキャッシュの日本系金融機関への卸し業務を手がけ、現在も都市銀行をはじめ地方銀行への韓国ウォンキャッシュの卸し業務を行っております。

当行は、現在まで築き上げてきた外為取引のノウハウを最大限に活用すると共に、先んじて韓国ウォン新商品を開発し、お客様のニーズに迅速に対応できるようにしたいと考えております。

第3に、当行は日本在住の韓国人および韓国と取引のある日本人の個人のお客様を対象に、迅速かつ低料金での海外送金サービスを提供するため、2004年4月から、韓国系銀行で最初(外国銀行で3番目)、キャッシュカード発行サービスを開始致しました。全国の三井住友銀行各支店に設置されているATMおよびコンビニエンスストア ampm に設置しているATMから入出金ができ、遠隔地のお客様でも手軽にご利用いただけるようになりました。さらに、2008年4月からはセブン銀行との業務提携により全国のセブンイレブンに設置しているATMでの利用も可能になり、益々、お客様の利便性が高まりました。今後ともネットワーク拡大に努力して参ります。

第4に、2008年10月からは新商品としてウォン当座預金の取扱いを開始いたしました。昨今のウォン建での貿易代金決済需要の高まりにつれて、ウォン貨受取および支払のための決済口座としてウォン当座預金口座を利用される日本系企業が増加しています。また、2009年10月から日本で最初のウォン定期預金(Global Won 定期預金)の取扱いを開始致しました。お客様の身近な運用商品としてご利用いただいております。

ウォン当座預金および定期預金等のウォン関連商品は日本では殆ど取扱のない金融

商品ではありませんが、今後ともウォン預金のニーズが高まるものと予想されることから、当行は同預金取扱を通じて、ウォン関連商品を日本国内で推進・拡大して行こうと考えております。

第5に、資産構築についてですが、過去の担保偏重主義による融資、特定業界企業への融資等から脱却し、信用リスク分散型の融資に心がけ、硬直した資産ポートフォリオではなく柔軟且つ変化に富んだ資産ポートフォリオを構築し、市場及び経済環境の変化にいつでも対応できる資産づくりを目標として取り組む考えであります。

コンプライアンス

本年1月、在日支店は金融庁より法令遵守等ならびに内部管理態勢等の不備により、行政処分を受けました。

この金融庁の処分を真摯に受止め、在日支店の経営管理（ガバナンス）態勢の見直し・再整備、法令等遵守態勢の確立等のため、業務改善計画を策定し、その履行・定着化に全行的に取り組んでおります。

リスク管理

「金融庁金融検査マニュアル」等に沿った在日支店総合リスク管理指針に基づいて、銀行を取巻く各種リスク(コンプライアンスリスク、事務リスク、信用リスク、市場価格変動リスク、事務リスク、流動性リスクおよびシステムリスク)に対して、より具体的で且つ実効性のあるリスク管理を実現致します。

不良債権問題

在日支店の不良債権については過去数年間にわたる集中処分により、ほぼその処理も終了致しました。全体的には資産健全化を実現すると同時にリスク管理強化による新規発生抑止により不良債権を限りなく減らして行く計画です。

3-1) 在日支店貸借対照表(資産の部)

(単位:百万円)

科目	平成 22 年 3 月末	平成 21 年 3 月末	増減
現金預け金	3,122	1,625	1,497
現金	345	261	84
預け金	2,777	1,364	1,413
コール・ローン	-	-	-
買入手形	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-
有価証券	1,123	3,672	-2,549
国債	-	-	-
社債	-	-	-
株式	-	-	-
その他有価証券	1,123	3,672	-2,549
貸出金	60,384	65,373	-4,989
割引手形	616	322	294
手形貸付	41,253	44,068	-2,815
証書貸付	17,322	19,507	-2,185
当座貸越	1,191	1,475	-284
外国為替	3,140	5,150	-2,010
外国他店預け	159	214	-55
外国他店貸	-	-	-
買入外国為替	2,981	4,935	-1,954
取立外国為替	-	-	-
その他資産	267	4,209	-3,942
未決済為替貸	-	-	-
前払費用	21	24	-3
未収収益	126	128	-2
未決済外国為替貸	-	3,952	-3,952
その他の資産	119	104	15
有形固定資産	316	340	-24
建物	53	55	-2
土地	132	132	0
建設仮払金	-	-	-
その他の有形固定資産	130	152	-22
無形固定資産	233	243	-10
ソフトウェア	13	22	-9
のれん	-	-	-
その他の無形固定資産	219	220	-1
繰延税金資産	-	-	-
支払承諾見返	3,546	1,655	-1,891
貸倒引当金	-1,584	-1,219	365
本支店勘定	22,818	13,967	8,851
本店	22,624	13,723	8,901
在日支店	-	-	-
在外支店	194	244	-50
資産の部合計	93,370	95,020	-1,650

3-2) 在日支店貸借対照表(負債の部)

(単位:百万円)

科目	平成 22 年 3 月末	平成 21 年 3 月末	増減
預金	50,423	33,913	16,510
当座預金	2,889	660	2,229
普通預金	7,109	4,555	2,554
貯蓄預金	-	-	-
通知預金	219	400	-181
定期預金	39,992	22,268	17,724
定期積金	-	-	-
その他の預金	211	6,027	-5,816
譲渡性預金	-	-	-
コール・マネー	2,000	3,000	-1,000
売渡手形	-	-	-
コマーシャルペーパー	-	-	-
借入金	15,652	20,606	-4,954
割引手形	-	-	-
借入金	15,652	20,606	-4,954
外国為替	1,672	1,148	524
外国他店預り	30	68	-38
外国他店借	-	-	-
売渡外国為替	-	-	-
未払外国為替	1,641	1,080	561
その他負債	473	4,390	-3,917
未決済為替借	-	-	-
未払法人税等	1	-	1
未払費用	230	214	16
前受収益	91	88	3
従業員預り金	-	-	-
給付補填金	-	-	-
未決済外国為替借	-	3,942	-3,942
その他の負債	150	145	5
賞与引当金	-	-	-
退職給与引当金	210	195	15
その他の引当金	-	-	-
繰延税金負債	-	-	-
支払承諾	3,564	1,655	1,909
本支店勘定	17,534	28,702	-11,168
本店	17,204	21,229	-4,025
在日支店	5	16	-11
在外支店	325	7,455	-7,130
負債の部合計	91,512	93,611	-2,099
利益準備金	2,011	2,011	0
繰越利益剰余金	-166	-602	-436
その他有価証券評価差額金	-	-294	294
土地再評価差額金	13	-	13
資本の部合計	1,858	1,409	449
負債および資本の部合計	93,370	95,020	-1,650

3-3) 在日支店損益計算書

(単位:百万円)

科目	平成 22 年 3 月末	平成 21 年 3 月末	増減
経常収益	5,111	6,393	-1,282
資産運用収益	4,321	5,119	-798
貸出金利息	1,866	1,891	-25
有価証券利息配当金	122	169	-47
コールローン利息	-	6	-6
買入手形利息	-	-	-
預け金利息	68	-	68
金利スワップ受入利息	-	4	-4
外国為替受入利息	1,799	2,692	-893
本支店為替受入利息	464	237	227
その他の受入利息	-	114	-114
役務取引等収益	515	621	-106
外国為替受入手数料	515	621	-106
内国為替受入手数料	-	-	-
その他の役務収益	-	-	-
その他業務収益	253	478	-225
外国為替売買益	253	478	-225
商品有価証券売買益	-	-	-
国債等債券売却益	-	-	-
国債等債券償還益	-	-	-
その他業務収益	-	-	-
その他経常収益	21	173	-152
株式等売却益	-	-	-
金銭の信託運用益	-	-	-
その他の経常収益	21	173	-152
経常費用	4,418	8,417	-3,999
資金調達費用	2,920	2,728	192
預金利息	426	320	106
譲渡性預金利息	-	-	-
コールマネー利息	42	126	-84
コマーシャル・ペーパー利息	-	-	-
売渡手形利息	-	-	-
借入金利息	461	447	14
金利スワップ支払利息	7	17	-10
外国為替支払利息	1,604	2,406	-802
本支店為替支払利息	377	409	-32
その他の支払利息	-	-	-
役務取引等費用	68	80	-12
外国為替支払手数料	68	80	-12
内国為替支払手数料	-	-	-
その他の役務費用	-	-	-
その他業務費用	-	-	-
外国為替売買損	-	-	-
商品有価証券売買損	-	-	-
国債等債券売却損	-	-	-

国債等債券償還損	-	-	-
国債等債券償却	-	-	-
その他の業務費用	-	-	-
一般貸倒引当金	-	-	-
営業経費	928	968	-40
その他経常費用	490	3,640	-3,150
貸倒引当金繰入額	381	3,640	-3,259
貸出金償却	93	-	93
株式等売却損	-	-	-
株式等償却	-	-	-
金銭の信託運用損	-	-	-
その他の経常費用	24	-	24
経常利益(△は損失)	692	-2,023	2,715
特別利益	172	52	120
固定資産処分益	-	-	-
貸倒引当金戻入益	-	-	-
償却債券取立益	107	52	55
金融先物取引責任準備金取崩額	-	-	-
証券取引責任準備金取崩額	-	-	-
その他の特別利益	65	-	65
特別損失	3	24	-21
固定資産処分損	-	24	-24
金融先物取引責任準備金繰入額	-	-	-
証券取引責任準備金繰入額	-	-	-
その他の特別損失	3	-	3
税引前当期利益(△は損失)	862	-1,994	2,856
法人税、住民税及び事業税	3	113	-110
法人税等調整額	-	-	-
当期利益(△は損失)	859	-2,108	2,967
前期繰越利益金(△は損失金)	-308	568	-876
積立金取崩額	-	-	-
中間引当金	-	-	-
利益準備金積立額	-	-	-
本店への送金(△は本店からの補てん金)	716	-1,231	1,947
繰越利益剰余金	-	-308	308
当期末未処分利益(△は損失)	-166	-	-166

株主の皆様へ

昨年度は、KEB の新社長および最高経営責任者として業務に当たれたことは私にとって、大変名誉なことであると感じています。全世界的に困難な経済情勢にもかかわらず、KEB 役職員の献身的な努力により、収益的に良い結果を出せたことに誇りを感じております。

KEB は 2009 年度、8,917 億ウォンの純利益を達成致しました。これは 2008 年度対比 13.9%増になります。同時に、資本基盤をかなり強化することができました。KEB の Tier1 自己資本比率は 2008 年末で 8.82%から 11.04%まで増加致しました。

2009 年度初、グローバルな経済状況は悪化しました。韓国銀行による短期政策金利の低下は KEB の収益主力部門である純利子差益の急激な減少に繋がりました。2009 年度初、KEB の資産状況は冷え込み、第 1 四半期の損失の主要因でもありました。

第 2 四半期以降、収益状況が着実に向上したと報告できることを私は誇りに思っています。資金調達コストを改善することにより、下期において、純利子差益の著しい増加を実現することができました。貸出資産の質的向上と、比較的安定した相場環境により、積立金を危険にさらすことなく、貸倒引当金はかなり抑えることができました。不良債権 (NPL) 比率は、2009 年度第 1 四半期にピークに達した後、着実に減少し、年間 1%の目標でしたが、0.94%で 1 年を終わることができました。NPL に引当は年末には 152.5%に改善したので余力のある貸倒引当金を維持することができました。

私たちは慎重に貸借対照表を管理しました。良質な顧客に対しサービスを提供することに注力し、また経済的に敏感なクライアントに対する融資残高の管理にも焦点を合わせました。その結果、KEB は 2009 年度の総貸出金を 5.9%抑えることができました。私の考えでは、過去数年間の顧客管理、融資審査およびリスク管理のための思い切った投資なくしては、大胆に KEB のビジネスを変えることはできなかったでしょう。





また、私たちは、外国為替と貿易金融におけるリーダーシップの地位を維持しました。競争相手の積極的な営業努力にもかかわらず、2009年度のKEBのシェアは、外国為替が46%、貿易金融は29%でした。これらの重要なビジネスにおいて、KEBの競争力強化のための管理を維持しなければなりません。この度、KEBに2009年度Presidential Medalが与えられたことは、韓国政府がKEBの優秀さを認識してくれたことであり、私はそれを誇りに思います。私たちは、韓国に投資して下さった外国人顧客および外国法人のサポートがあったからこそ、この賞を受賞することができたと信じております。さらに、ユーロマネー誌は、韓国でKEBを2009年度Best Bankに選定いたしました。そして、多くの専門家が、KEBを外国為替業務と貿易金融業務の第一人者であると位置付けています。

私たちは、斬新な着眼点、優秀な従業員および細心で統制の取れたマネージメントシステムを通して基礎的価値を創出するために努力しております。私たちの優れた財務実績が基礎的価値創出へのアプローチを可能にする信じております。例えば、2009年度、KEBは銀行平均より2.6倍以上高い総資産利益率を達成いたしました。また、業務規模は競合他行に比べ小さいものですが、1従業員あたりの営業収入は他行平均より18%高い水準にありました。一方、私たちの1支店あたりの営業収入も他行平均より51%高い水準となっています。

私たちの配当プランは、KEB資本管理戦略に反映して、法的な要求事項を上回る資本を維持することに焦点を合わせています。同時に、それは私たちの成長プランを支えるものであり、不慮のリスクに対する緩衝体を提供するものでもあります。また、私たちは、資本効率を増加させることにより、株主の皆様への通常、若しくはそれ以上の頻繁な配当金支払いを可能にすることを目指しています。堅調な収益性、成長計画および強固な資本状況を考慮して、取締役会は3,289億ウォン、つまり一株当たり510ウォンの配当を決定いたしました。これは、4期連続の配当支払いであり、2008年度の一株当たり125ウォンから見れば相当増加したことになります。この配当支払いはKEBが以前公表した方針に沿ったものです。

多くの人々は、回復力は不確かであっても、2010年には経済状態は好転すると予想しております。このようなマクロ経済の環境下で、貸出金が通常のレベルまでに回復して純利子差益(NIM)が上昇傾向に戻り、また手数料収入の増加および貸倒引当金の減少等があれば、2010年度において、KEBの基礎的収益性は向上すると期待しております。従って、2010年度は、8,000億ウォンの非経常項目を除いた純収入に対し、少なくとも10%の株主資本利益率を達成するであろうと考えています。これらの目標は、2009年度のROEと純収入から比較し、かなりの増加を示しております。

マクロ経済の見通しは改善状況にはありますが、いくつかの切迫した課題が残っております。KEBは資産の不良化等のその他不確定事項と同様、業界の成長鈍化等によって競争の激化に直面しています。そのうえ、KEBは資本、流動性および外貨借入れに関する監督当局の新規追加規制も遵守しなければなりません。しかしながら、私は、KEBがこれらの問題を克服し、韓国におけるBest Bankとしてもう一度舞台に上がることができるかと確信しています。

2010年度以降、KEBには、3つの戦略的な優先課題があります。1番の優先課題は、持続的で成長力のある収益基盤を構築することです。長期に渡り収益を産み、効率的に資本と資源を使用してビジネスを際立たせてきた「競争で鍛え抜かれた」システムがKEBにはあると信じています。私たちは、ポートフォリオの品質の向上を維持しながら、貸借対照表を最適化し続けるつもりでいます。また、業務効率の達成に重点を置くように努めます。

2番目に、KEBの競争力と独自性を強化することです。質の高い新しい顧客に焦点を合わせ、クロス・セリングを行うことで、2010年度には、マーケティングを強化することを計画しております。私たちは、KEBの専門的技術を駆使し、斬新な新商品を開発することも計画しております。

3番目は、業務改善で法令遵守と内部管理を徹底することです。銀行の主要な資産の1つは職員の質であります。職員の能力を高めることにより、顧客への最高品質のサービスを提供し続けるように努力いたします。





2009年度、KEBの全職員は、経済危機の余震から脱出することに集中しました。私たちは、最善を尽くし、収益的に良い結果を残すことができました。2010年度は、質の高い成長と、当行の価値あるフランチャイズを強化することに注力します。私は、経済が回復し始めたこの時に、その好機を最大限に利用できる位置にKEBが置かれていると信じています。株主の皆様のご継続的なご支援と激励に感謝し、韓国においてKEBがBest Bankになれるよう努力するつもりであります。

皆様ならびにご家族にとって、平和で健康な2010年度でありますように祈願いたします。ありがとうございます。

2009年12月

韓国外換銀行 銀行長

Larry A. Klane

2. 当行のあゆみ

1967. 1. 30	韓国外換銀行創立(資本金 100 億ウォン)
1972. 11. 28	国内最初の On-Line 普通預金取扱開始
1977. 3. 30	資本金 1,000 億ウォンに増資
1978. 4. 10	国内最初のクレジットカード(VISA Card)業務取扱開始
1978. 5. 22	資本金 3,000 億ウォンに増資
1981. 1. 30	本店新築移転
1985. 2. 19	86 アジアゲームおよび 88 ソウル・オリンピック公認銀行指定
1985. 3. 25	信託業務取扱開始
1985. 7. 25	資本金 4,050 億ウォンに増資
1989. 12. 30	韓国外換銀行法廃止、特殊銀行から民間銀行に転換
1990. 7. 9	総合電算システム稼働
1990. 9. 13	体育宝くじ発売開始
1991. 12. 5	資本金 6,050 億ウォンに増資(一般公募 2,000 億ウォン)
1993. 1. 1	資産再評価実施
1994. 4. 4	株式上場
1994. 8. 30	97 ユニバーシアード大会公認銀行に指定
1995. 8. 25	資本金 8,250 億ウォンに増資(一般公募 2,200 億ウォン)
1996. 3. 14	VISA 海外デビット・カード清算銀行に指定
1996. 7. 8	KEDO 資金管理主取引銀行に指定
1997. 12. 11	国内最初の北朝鮮クムホ出張所開店
1998. 7. 29	資本金 11,750 億ウォンに増資(コメルツ銀行に第 3 者割当 3,500 億ウォン)
1999. 1. 1	韓外綜合金融(株)合併
1999. 3. 18	事業部制施行
1999. 4. 22	資本金 24,817 億ウォンに増資(最大株主韓国銀行からコメルツ銀行に変更)
2000. 12. 20	資本金 12,409 億ウォンを 1:2 に減資
2000. 12. 22	資本金 18,509 億ウォンに増資
2001. 3	国内最大外国為替専門ウェブサイト開設
2001. 6	2010 年 Yeosu 世界博覧会誘致委員会後援銀行に選定
2003. 5	国内最初ハイブリット証券 2,500 億ウォン発行
2003. 9. 3	バンカシュアランス業務開始
2003. 10. 30	資本金 31,946 億ウォンに増資(LSF KEB Holding, SCA に第 3 者割当増資 13,437 億ウォン) 最大株主コメルツ銀行から LDF-KEB Holding, SCA に変更
2004. 2. 28	外換クレジットカード(株)を吸収合併
2004. 9	アジアマネー誌、当行を韓国内最優秀外国為替銀行に選定
2004. 12	CLS 為替同時決済システム開始
2004. 12	IFR Asia 誌、当行を” Deal of the Year” 銀行に選定(3 年連続)
2005. 1. 25	リチャード・ウェッカー頭取、ロバート・フェロン理事会議長就任
2005. 2. 11	次世代電算システム稼働
2005. 6. 7	S & P、長期信用等級 BBB に引上げ
2005. 6. 17	Fitch、長期信用等級 BBB に引上げ
2005. 12. 15	Fitch、長期信用等級 BBB+に引上げ
2005. 12	Global Finance 誌、当行を韓国内最優秀貿易金融銀行に選定(6 年連続)
2006. 3. 29	韓国信用評価、先順位無保証債券等級 AAA に格上げ
2006. 5	アジアマネー誌、2006 年韓国最優秀為替構造化商品供給機関に選定

2006. 6	アジアリスク誌、当行をアジア 10 大銀行に選定
2006. 7	ユーロマネー誌、2006 年韓国最優秀銀行に選定
2006. 8	Moody's、短期債信用等級 P-2 に格上げ
2006. 8	アジアマネー誌、2006 年韓国最優秀 Cash Management Service 銀行に選定 (2 年連続)
2006. 10	ロシア・ルーブル貨および南アフリカ・ランド貨に対する外国為替業務開始
2006. 11	韓国系銀行最初の中国内インターネットバンキング・サービス実施
2006. 12	金融監督院、「ヘッジマスター・サービス」2006 年金融商品最優秀賞受賞
2007. 2. 22	S & P、長期信用等級 BBB+に引上げ
2007. 3. 23	韓国信用情報、企業信用等級 AAA に格上げ
2007. 5. 4	Moody's、長期債信用等級 A2 に 3 段階格上げ
2007. 6. 14	韓国能率協会コンサルタント選定「銀行分野優秀コールセンター賞」受賞
2007. 8	Asismoney 誌、2007 年韓国最優秀外国為替銀行選定 (2 年連続)
2007. 10. 23	Global Finance 誌、2007 年韓国最優秀外国為替銀行選定 (6 年連続)
2007. 10	産業支援部主管「2007 年度サービス品質核心産業支援部長官賞」受賞
2007. 12	Web Award Korea 2007 金融/財テク部門優秀賞受賞
2007. 12	IFR Asia 誌、当行を” Deal of the Year” 銀行に選定
2008. 2. 29	Fitch、長期信用等級 A-に格上げ
2008. 3	市中銀行中最初の外国語音声案内対応 ATM および CD 設置
2008. 4	ロシア・モスクワ事務所開設
2008. 5	CD/ATM 10 カ国語画面支援サービス実施：国語、英語、日本語、中国語、ベトナム語、モンゴル語、タイ語、フィリピン語、インドネシア語およびスリランカ語
2008. 6	外国人居住者専用 KEB Global 預金実施
2008. 6	カナダ韓国外換銀行バンクーバー・ダウンタウン支店開設
2008. 7	新 CI (Corporate Identity) 宣布
2008. 7	中国・天津支店内 Pin Hai 出張所、チリ・サンディエゴ事務所開設
2008. 7	電話相談予約サービス施行
2008. 8	LA 現地法人 (KEB LA Financial Corp) シアトル支店開設
2008. 8	インド・ニューデリー現地事務所開設
2008. 9	外換銀行顧客センター「KS 認証」獲得
2008. 10	北京ウダコウ出張所開設
2008. 11	ロシア VTB24 銀行と戦略的業務提携
2008. 11	チェコ/オーストリア事務所開設
2008. 12	HI-Tech 外貨定期預金出資
2009. 1	ATM 言語画面支援サービス実施 (総 17 カ国)
2009. 2	換率区間別自動振込および海外送金サービス施行
2009. 3	インドネシア外換銀行現地法人グラパガーデン出張所開設
2009. 3	ソウル出入国管理事務所と「グローバル人材および投資外国人誘致支援」のための業務協定締結
2009. 4	「KEB 直訴の鐘」制度を海外店舗網まで拡大施行
2009. 6	外貨譲渡性預金証書 (外貨 CD) 販売
2009. 7	香港 IB 現地法人” KEB Asia Finance Ltd.” 設立
2009. 8	外国人英語専用通帳” Expat Savings Account” サービス開始
2009. 10	大宇証券と CMA 信用カード発行業務提携協約締結
2009. 11	トルコ・リラの外国為替業務取扱開始
2009. 11	現代証券と為替取引自動化サービス業務提携協約締結
2009. 12	在外韓国人に対する国内投資サービス実施

3. 全社連結貸借対照表及び損益計算書

3-1) 本店連結貸借対照表 (2009年12月31日現在)

(単位:百万ウォン)

科 目	2009年12月末 (韓国ウォン)	2008年12月末 (韓国ウォン)
現金・預置金	5,902,708	10,107,706
短期売買証券	959,052	1,049,999
売渡可能債券	7,704,275	7,126,882
満期保有債券	4,472,087	3,391,566
持分法適用投資株式	693,761	544,130
貸出債権	62,627,014	64,412,277
(貸損充当金)	(-)963,425	(-)1,064,899
(繰延貸出付帯収益)	(-)54,925	(-)50,850
1.ウォン貸貸出金	42,187,445	41,612,045
2.外貨貸出金	7,883,346	9,042,746
3.外国為替	3,996,289	4,449,075
4.信用カード債権	2,422,944	2,552,608
5.その他貸出債権	7,155,340	7,871,552
有形資産	1,380,418	1,427,218
その他資産	10,717,280	12,285,386
総合金融勘定資産	1,851,510	3,363,112
(貸損充当金)	(-)11,163	(-)17,148
貸出債権	583,100	1,761,880
短期売買証券(綜金勘定)	1,094,673	1,444,380
総合勘定その他資産	184,900	174,000
資産総計	96,308,105	103,708,276
預受負債	56,951,887	56,397,357
要求払預金	19,658,363	18,893,827
期限付預金	28,244,599	30,081,512
譲渡性預受金	9,048,925	7,422,018
借入負債	17,039,671	22,749,312
ウォン貸借入金	2,141,422	1,759,181
外貨借入金	5,482,401	6,996,595
社債	7,855,885	10,790,561
その他借入金	1,559,963	3,202,975
その他負債	13,062,152	14,402,472
総合金融勘定負債	1,299,568	3,495,617
預受負債	1,277,149	3,464,502
総合勘定その他負債	22,419	31,115
負債総計	88,353,278	97,044,758
資本金	3,224,534	3,224,534
資本剰余金	940	940
資本調整	-	(-)4,425
その他包括損益累計額	1,233,556	749,201
利益剰余金	3,495,797	2,693,268
資本総計	7,954,827	6,663,518
負債・資本総計	96,308,105	103,708,276

3-2) 本店連結損益計算書 (2009年12月31日現在)

(単位:百万ウォン)

科 目	2009年12月末 (韓国ウォン)	2008年12月末 (韓国ウォン)
営業収益	16,388,242	22,730,490
利子収益	4,475,278	5,148,449
有価証券評価および処分利益	331,141	180,989
貸出債権評価および処分利益	16,760	11,551
外国為替取引利益	3,720,056	2,567,115
金融派生商品利益	7,221,653	13,986,684
手数料収益	467,435	500,112
配当金収益	14,203	75,179
繰金勘定営業収益	111,080	207,833
その他営業収益	30,636	52,578
営業費用	15,673,007	21,576,660
利子費用	2,426,883	2,854,667
有価証券評価および処分損失	40,175	85,494
貸出債権評価および処分損失	681,971	745,874
外国為替取引損失	2,812,085	2,470,846
金融派生商品損失	7,869,356	13,645,121
手数料費用	278,602	240,984
販売費および業務管理費	1,283,401	1,192,242
繰金勘定営業費用	45,694	160,000
その他営業費用	234,840	181,432
営業利益	715,235	1,153,830
営業外収益	103,379	124,550
営業外費用	35,483	110,890
法人税引き前純利益	783,131	1,167,490
法人税	(-)108,606	384,872
当期純利益	891,737	782,618